

高橋けいすけ

県議会報告

No. 52	自宅/山形市高堂1-5-20-3 ☎023-643-4847
2023年10月31日	県議会/県政クラブ執務室 ☎023-630-3211
発行人/高橋啓介県議会議員	



民意が反映される政治を

猛暑の夏が嘘だったかのように、彼岸を境に寒さを感じる季節となりました。新型コロナが5類になりましたが、感染の拡がりの動きもあり、これまで同様感染予防に心がけ対応して参りましょう。

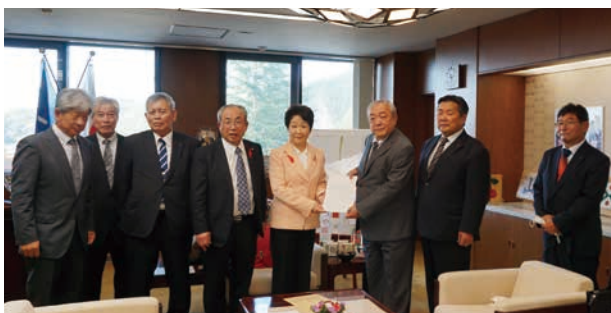
生命と健康を守る

猛暑の影響を受けて米沢市の女子中学生が部活を終えて帰宅途中に熱中症とみられる症状で倒れ、病院に搬送されましたが、その後、死亡するという痛ましい事故が発生しました。

その事故を重く受け止め、吉村知事は9月定例議会に、県内の私立学校を含めた全ての中学校・特別支援学校そして高等学校に可搬式冷房機器整備の予算を計上しました。

切り捨てられる民意

さて、岸田政権はどんな社会を目指そうとしているのでしょうか。内閣改造で5名の女性閣僚を任命したかと思えば、副大臣



▲建設労組の皆さんと平成22年に要望し、住宅リフォーム制度がスタート。毎年要望し、今年も10/23に実施

と政務官にあっては54人の中に1人も女性は任命されませんでした。また、衆議院の解散を巡っては「減税」の話を出し、防衛費では「増税」…。福島原発の「処理水」にあっては、「地元の漁協の了解」を前提としていましたが、その約束も守られませんでした。更に、沖縄の辺野古基地建設にあっては、沖縄県民の民意が切り捨てられています。

あまりにも道理が通らないことが多すぎはしませんか。権力を持っている人だけの政治でいいのでしょうか。この間の投票をみても、有権者の半数近くの方が選挙に参加していません。「投票しても同じ」と言った声が返ってきますし、民意が反映されない政治に「嫌気」がさしているのでしょうか。

理不尽な事にしっかり物をいい、「子らの未来のために」民意を取り戻す社会を作って参りましょう。

それにしても、円安の影響も有りあらゆる物が値上がりしており、抜本的対策が国に求められています。生活が安定することが社会の安定に繋がるわけであり、これからは皆さん方の声が反映される政治を求めて努力して参ります。

9月 定例議会

去る9月19日から10月6日まで9月定例議会が行われました。
補正予算案の総額は、11,083百万円（9月補正後累計予算額 697,416百万円）。特に、危険な暑さから子どもの命と健康を守るため、学校における熱中症対策や、地域経済の基盤となる人づくり・DXの推進、さらには、物価高騰に直面する生活者や事業者の影響を緩和し、産業の持続的な発展に向けた取組みを推進するなど、本県が直面する様々な課題に対応した予算となっており、最終日に全ての予算が可決されました。

（補正予算の主なもの）

1. 子どもの命と健康を守る熱中症対策の推進	309百万円
市町村立中学校、県立学校（高等学校・特別支援学校） 及び私立高等学校の屋内運動施設に可搬式冷房機器の整備	
2. 「子育てするなら山形県」の推進	5百万円
低出生体重児に配慮した母子健康手帳の副読本作成	2百万円
県庁舎ロビーへの授乳室の設置	3百万円
3. 人づくり・DXの推進	38百万円
県立学校のインターネット接続環境の整備	27百万円
警察職員のリモートワーク環境の整備	7百万円
4. 新型コロナウイルス感染症対策の推進	636百万円
県立学校・県立病院における感染防止対策の強化 （空調設備整備、トイレ洋式化、自動水栓化等）	
5. 物価高騰の影響を緩和し、産業の持続的な発展を推進	1,430百万円
(1) 生活者等	207百万円
◎低所得世帯への冬季の灯油購入費等の臨時的な支援 （現行制度1世帯当たり5,000円（県・市町村半分） 加え、物価高騰支援2,500円（県10/10）を措置）	142百万円
◎特殊詐欺対策強化に向けた迷惑電話防止機能付き 固定電話機への買い換えを促すキャンペーンの実施 （5,000円分のギフトカード×5,000件分）	34百万円
◎私立学校の物価高騰等への支援（生徒数×3,000円）	31百万円
(2) 農林水産業	1,125百万円
【物価高騰等への支援】	
◎施設園芸農業者の燃油価格高騰への支援	39百万円
◎畜産農家の飼料価格高騰への支援	426百万円

◎畜産農家の省エネ設備等の導入経費に対する支援	17百万円
◎農業水利施設の省エネ対策への支援	21百万円
◎燃油・生産資材高騰の影響を受ける農業者・漁業者に対する 運転資金の無利子融資の延長（貸付限度額500万円）	[制度延長]
【畑地化の支援】	
◎水田の畑地化に取り組む農業者の土地改良区に支払う 地区除外決済金等への支援（上限25万円 /10a）	613百万円
(3) 産業・観光	98百万円
◎中小企業パワーアップ補助金の増額	81百万円
・県内中小企業・小規模事業者が行うDXやGXの推進 に向けた設備投資等に対する支援（補助率1/2又は2/3、 上限200万円）	55百万円
・観光事業者が行うDXの推進や高付加価値化の取組み に対する支援（補助率1/2又は2/3、上限100万円 （単独整備分）、150万円（面的整備分））	26百万円

6. 社会資本整備の着実な推進（公共事業の追加等） 5,517百万円

◎土木公共事業	3,326百万円
・道路（橋りょう等の長寿命化対策・道路改良、 通学路の安全確保を図るための歩道整備等）	2,909百万円
・河川（ダム管理設備の更新、最上川の緊急治水対策 プロジェクトに基づく河川整備等）	135百万円
・街路（道路交通環境・防災機能向上のための街路整備等）	101百万円
・砂防（土砂災害防止のための砂防えん堤の整備等）	99百万円

監査委員活動



▲10/25 監査委員として決算委員会に出席

て仕事量が大幅に増え、限りある人員の中で県民生活を維持向上させるため頑張っている現状を目の当たりにしています。

改選と併せて、今年の5月23日に議会選出の監査委員に就任して務めております。

仕事の内容としましては、監査委員会の事務局職員が各職場にお伺いして、事前監査を行った後に、その監査状況の報告を受けて、4名の監査委員が2班に分かれて本監査を行っています。年間約40日程度監査業務にあたることになっています。

携わって感じた事の一つとして、新型コロナウイルスや毎年発生する大災害によっ

最低賃金が改善

今年の10月14日から県内の最低賃金が1時間900円に改定されました。この金額は、パートや臨時で働いている全ての人に適用される時間給です。

これまで、最低賃金は全国で4ランクになっていましたが、地域間格差を縮小するため、1978年以来初めての見直しが行われこの度の改定から3ランクとなりました。本県はこの度も最低のCランク（東北では宮城県・福島県がBランク）で、全国13県が位置付けられています。

以前も議会報で報告させて頂きましたが、ランクの低い県ほど若者の県外流出が多い事が明

東北6県の最低賃金 (2023年度)		
	答申額 (時給)	引き上げ幅
青森	898円	45円
岩手	893円	39円
秋田	897円	44円
山形	900円	46円
宮城	923円	40円
福島	900円	42円

らかになっています。そのため県では、ランクを無くして全国一本の最低賃金を政府に求めています。併せて、価格に転嫁が出来ない中小零細企業の経営を踏まえれば、最低賃金の引き上げに併せて中小零細企業に対して国の支援策を要望しております。

県立新庄病院 新たにオープン

地下1階、地上6階建て、最上地域における高度医療を提供する病院として10月1日に新たに7科を加え、28科体制でオープンしました。

地域の皆様方もこの日が来るのを待ち望んでいた事と思います。まさに、吉村県政であったからこそ、成し得たものと思っております。

全国に先駆けて県立日本海総合病院を独立行政法人化したこともあって、前知事は、最上地

域の首長さん方が平成19年に「県立での存続」を要望した折、「経営形態は別」と頑固に言い張っていました。その後、日本海総合病院を除く他の県立病院についても経営形態を含め審議会に諮問しておりました。ところが、次の年の知事選に出る吉村候補が「新庄病院は県立で存続」させることを公約したのを受けて、前知事の対応が一変し、「県立での存続」に方針転換。審議会を無視した身勝手な対応に憤りを感じ、12月の予算委員会で質し、その後会見で自らの発言を撤回しております。都会と違い新庄病院が独立行政法人になってしまえば、将来医師の確保が大変になってくるのが心配されましたので、吉村候補と事前に話をさせて頂いて「公約」にして頂いておりました。そんな経過もあり、見事素晴らしい病院に生まれ変わり本当に良かったと思っております。なお、当時の状況につきましては議会報のNo.7号に掲載しております。



皆様方からの県政に対するご意見をお待ちしております。TEL・FAX 023-643-4847

高橋啓介ホームページ <http://www.keisuke-t.com>

県議 高橋啓介 検索

